日刊（1）昭和21年6月1日（除月曜）第三種郵便物認可　昭和24年2月23日 逓信省特別扱承認第233号

いわき民報

夕刊　昭和29年2月20日（土曜日）　第2318号

夕刊 いわき民報

発行所 平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原 豊

木材のご用命は
ご貨店
筑木 一般建築材
秋田杉 木曽檜 準島松
ラワン ベニヤ板 圓葉樹 車輛材
㊀材木店
平市五丁目290 556

外貨獲得工場生る

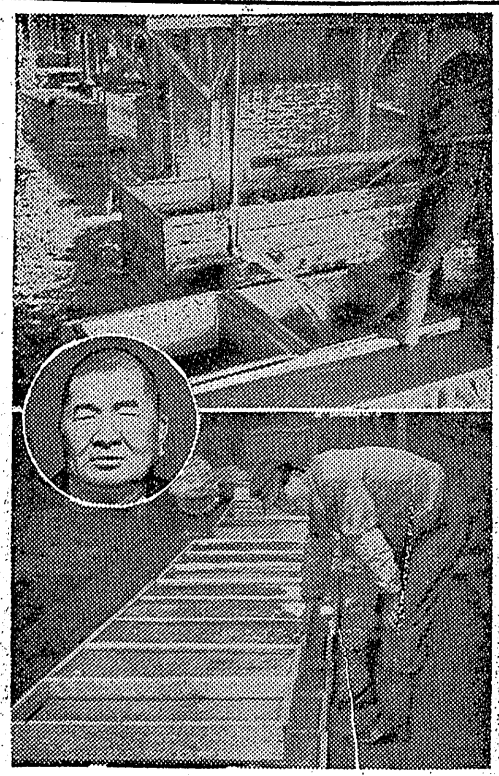
化學寒天 月産二千貫へ

製品は殆んど米國へ

富士化学寒天株式会社（社長佐藤三平氏）はこの程、資本金六百万円で平市鹿島町四二に製造工場を設置し新発足した。当初、江名町永崎に建設の予定だったが水道が無く、交通も不便で原料とする「オゴノリ」は江名海岸だけの採取では一日分位の原料にしか当らず現在、東京湾でとれるものを原料に製造し月産三百貫、この寒天は「オゴノリ」を原料とし化学的製法により粉末寒天にしたもので殆んどアメリカに輸出し地方産業の振興にも外貨獲得の見地からも各方面の注目を呼んでいる

日本は四面海洋に恵まれながら寒天の生産は需要の割に少なかった、これは原料高によるもので天然寒天の原料である「てんぐさ」は一貫匁千八百円、これが四貫匁で一貫匁の製品が出来る状態だからコストが合わないということ、それに天然寒天は一般に農家の副業として生産され、凍らせるのには零下六度内外の温度でないと製造出来ず、これが一年で八十日位の期間しかなく、しかも地域的に気象状態も異なるので大した生産がみられなかった、現在、日本の年間生産高は二十四万貫、七億五千万円にのぼり、殆んど海外に輸出されている、だが天然寒天は細菌やゴミが入っているため外国ではこれを精製し貫当り日本で六千円程度のものを二万四五千円で販売されている実情である、天然寒天に対し化学寒天の製造が戦時中盛んに行われたが水によって冷凍していたため費用がかゝり、戦後この方法は全部やめてしまった、その後化学寒天は改良されて生産している海外の需要が多く年間十二万貫程度の不足をつげている同会社が今度新案特許による「オゴノリ」（刺身のツマに使っている海草）を原料にして製造する方法は関係方面の注目をよんでいるもので、これは東大出身の薬学士井手正文氏が二十六年間研究の結果、考案した加圧脱水法により製造するもの、先ず「オゴノリ」を漂白し、主成分を抽出し、炉過、凝固、プレスそれから乾燥して製粉するもので、製粉じたものに水を加え溢めて冷やすと元通りの寒天になるというもの、天然寒天はゴミが入っているので褒こしせぬと食べられぬがこれは煮ればすぐ食べられる利点がある、それに天然寒天よりゼリー強度（ネバネバしさ）が四十倍も強く千六百度くらいまでになる、同会社の製品は殆んど船特級もので、粉にした寒天は米を粉にしたようにきれいで貯蔵も簡単である

寒天は普通、羊かんに使うくらいで使途は余り知られていないが、細菌培養基、緩下剤、歯科印象剤製パン工場、化粧品、肉類詰物、高級菓子それに電球のフイラミントの中に用いられるといった広範囲なもので寒天の需要は国内的にも漸次多くなつてきている



（写真上はオゴノリを漂白しているところ、下は主精分を凝固しているところ、円内は佐藤社長）

貧乏ゆすり 妙なクセ

松本久吉氏には貧乏ゆすりをする癖がある、談話が佳境に入るにつれそのゆるぎが激しくなつてゆく、旅順大学の講師をしていたころから続いている歴史的なもの、これをすると思考が泉のように湧きあがり文章を書くのだそうだ、一寸失敗したり照れ臭かつたり大きい声をすくめウナジをポンポン右手でたたくクセもある、そしてポツと顔を染めるのだ、処女の含羞とでも表現したいほどである、それだけに純真で感覚も新しい見たところ共産党の徳田球一に頭のハゲ具合が似ているので警視庁の刑事に追い廻されたほどだ、アクが抜け嫌味が全然ない、地方になくてならぬ人材の一人である

（前湯本町長）

松本さん

會社の役員

会社の役員は次の通り▼社長佐藤三平▼常務取締役 北垣修▼取締役技師長 井手正文▼取締役 野崎満蔵、沼田一夫、四家文一 幸原時蔵▼監査役 草野四郎、佐藤福太郎

會社の役員

会社の役員は次の通り▼社長佐藤三平▼常務取締役 北垣修▼取締役技師長 井手正文▼取締役 野崎満蔵、沼田一夫、四家文一 幸原時蔵▼監査役 草野四郎、佐藤福太郎

先ず帳簿を檢査

三井信託 大東殖産 再建せよと決る

昨報＝三井信託、大東殖産の再建大会は十八日平市公会堂日本間に加入者約三百名が集まつて開かれこのまゝ再建にもつてゆくか、解散してしまうか活ばつに検討協議したが、結局採決に入り（欠席者は依任状による）七割が再建すべしという意志だつた、その状況は湯本地区が百%、平地区が八十五%、富岡地区百%、浪江地区百%といずれも再建に賛成、原町は百%反対した、再建に決まつたが内郷地区の小野恵男氏から動機が出され、監理委員会をつくつて帳簿を確め数字的なものをみて再建できるかどうか検討の上最後の結論を出すべきだということになつて来る二十二日監理委員会を開き、一行が上京、一応本社の帳簿を監査することになつた、監査委員は次の通り、なお以前支店長が使込みをしたというウワサについては四家平支店長は「絶対にない」と言明している

▼委員長 小野恵男（内郷町）▼副委員長 渡辺磐滴（浪江町）大橋彌太郎（植田町）▼監査 山田武人（浪江町）末永恵夫（湯本町）

古河のスト續く

既報＝波状的な出炭ストで長期斗争に入つた炭労大手筋の古河好間炭鉱労組（二千三百名）は十九日午前六時の一番方から第四波原炭搬出拒否の部分ストに入つた、ストに入つたのは第三波と同じく搬出部門の十一名だけだがヤマの機能はマヒ状態となつている、なお引続き二十二、二十三の両日は第五波、二十五、二十六の両日は第六波の出炭ストを予定している、ストによる一日の減炭は千二百五十トンである

平富岡間の通勤車時間

既報＝常磐線下り平―富岡間通勤列車は二十二日から二月三十一日まで臨時運転される、このため従来運行の上り二二、二四、急行々北上々の三列車が現行時刻より多少の変更があり、臨時列車及び関係変更列車発着時刻は次の通り

▽急行々北上々二〇六列車 九百六十六円、一小四百三万二百九十四円、二小四百二十六万七千九百三十五円、三小三百七十六万四千七百九十五円、一中二百八万七千三百二円、二中二百九十六万三千八百三十八円、湯本幼稚園九十八万一千六百四十四、浅貝幼稚園十六万八十四などを附議原案通り可決、町議会に送付することになつた、なお引続き協議会に移り今まで二分されていた教育委員会と公民館の予算を一本にし機構改革を行い、人事異動を次の通り行つた

▽総務係三島恒哉、岡崎仙次▽学校教育係石田元貞、森佐智子▽社会教育係長谷川栄、遠藤雅男

湯本教育委で豫算可決

湯本町二月定例教育委員会は十八日午前十時からひらき二十九年度当初予算教育委員会百九十三万四百五十円、社会教育費四十九万六千円、公民館費二百八十一万五千十一日帰町する

人事消息

◇若月司直氏（石城地方事務所長）は事務連絡のため十九日朝出福同夜帰平

◇金古啟爾氏（平市会議長）伊藤秀吉氏（助役）強口唯七郎氏（市議）は十九日平衡災付金問題で出福二十一日帰平の予定

◇高木長年氏（小名浜小校長）は二十二日全国校長会幹事会出席のため上京二十四日帰校する

◇湯本町教育長根本喜代一、公民館長若松一美両氏は十九日東京方面の優良公民館視察のため上京二

小池檢事退職

小池恒由氏（地検平支部次席検事）は家庭事情から九日付で退職した

間婦人講座

間婦人講座を開いた、教育者としての母、修養の在り方に対する討議講師は東京代々木財団法人修養団本部遠藤俊雄先生

貧乏ゆすり 妙なクセ

松本久吉氏には貧乏ゆすりをする癖がある、談話が佳境に入るにつれそのゆるぎが激しくなつてゆく、旅順大学の講師をしていたころから続いている歴史的なもの、これをすると思考が泉のように湧きあがり文章を書くのだそうだ、一寸失敗したり照れ臭かつたり大きい声をすくめウナジをポンポン右手でたたくクセもある、そしてポツと顔を染めるのだ、処女の含羞とでも表現したいほどである、それだけに純真で感覚も新しい見たところ共産党の徳田球一に頭のハゲ具合が似ているので警視庁の刑事に追い廻されたほどだ、アクが抜け嫌味が全然ない、地方になくてならぬ人材の一人である

（前湯本町長）

松本さん

會社の役員

会社の役員は次の通り▼社長佐藤三平▼常務取締役 北垣修▼取締役技師長 井手正文▼取締役 野崎満蔵、沼田一夫、四家文一 幸原時蔵▼監査役 草野四郎、佐藤福太郎

先ず帳簿を檢査

三井信託 大東殖産 再建せよと決る

昨報＝三井信託、大東殖産の再建大会は十八日平市公会堂日本間に加入者約三百名が集まつて開かれこのまゝ再建にもつてゆくか、解散してしまうか活ばつに検討協議したが、結局採決に入り（欠席者は依任状による）七割が再建すべしという意志だつた、その状況は湯本地区が百%、平地区が八十五%、富岡地区百%、浪江地区百%といずれも再建に賛成、原町は百%反対した、再建に決まつたが内郷地区の小野恵男氏から動機が出され、監理委員会をつくつて帳簿を確め数字的なものをみて再建できるかどうか検討の上最後の結論を出すべきだということになつて来る二十二日監理委員会を開き、一行が上京、一応本社の帳簿を監査することになつた、監査委員は次の通り、なお以前支店長が使込みをしたというウワサについては四家平支店長は「絶対にない」と言明している

▼委員長 小野恵男（内郷町）▼副委員長 渡辺磐滴（浪江町）大橋彌太郎（植田町）▼監査 山田武人（浪江町）末永恵夫（湯本町）

古河のスト續く

既報＝波状的な出炭ストで長期斗争に入つた炭労大手筋の古河好間炭鉱労組（二千三百名）は十九日午前六時の一番方から第四波原炭搬出拒否の部分ストに入つた、ストに入つたのは第三波と同じく搬出部門の十一名だけだがヤマの機能はマヒ状態となつている、なお引続き二十二、二十三の両日は第五波、二十五、二十六の両日は第六波の出炭ストを予定している、ストによる一日の減炭は千二百五十トンである

平富岡間の通勤車時間

既報＝常磐線下り平―富岡間通勤列車は二十二日から二月三十一日まで臨時運転される、このため従来運行の上り二二、二四、急行々北上々の三列車が現行時刻より多少の変更があり、臨時列車及び関係変更列車発着時刻は次の通り

▽急行々北上々二〇六列車 九百六十六円、一小四百三万二百九十四円、二小四百二十六万七千九百三十五円、三小三百七十六万四千七百九十五円、一中二百八万七千三百二円、二中二百九十六万三千八百三十八円、湯本幼稚園九十八万一千六百四十四、浅貝幼稚園十六万八十四などを附議原案通り可決、町議会に送付することになつた、なお引続き協議会に移り今まで二分されていた教育委員会と公民館の予算を一本にし機構改革を行い、人事異動を次の通り行つた

▽総務係三島恒哉、岡崎仙次▽学校教育係石田元貞、森佐智子▽社会教育係長谷川栄、遠藤雅男

勿來婦人講座

勿来町公民館では十七日から三日間婦人講座を開いた、教育者としての母、修養の在り方に対する討議講師は東京代々木財団法人修養団本部遠藤俊雄先生

小池檢事退職

小池恒由氏（地検平支部次席検事）は家庭事情から九日付で退職した

人事消息

◇若月司直氏（石城地方事務所長）は事務連絡のため十九日朝出福同夜帰平

◇金古啟爾氏（平市会議長）伊藤秀吉氏（助役）強口唯七郎氏（市議）は十九日平衡災付金問題で出福二十一日帰平の予定

◇高木長年氏（小名浜小校長）は二十二日全国校長会幹事会出席のため上京二十四日帰校する

◇湯本町教育長根本喜代一、公民館長若松一美両氏は十九日東京方面の優良公民館視察のため上京二

勿來婦人講座

勿来町公民館では十七日から三日

岡カ見物

▼十七日開いた小名浜町の厚生、総務合同委員会で健康保険の復活が取上げられ論議された、小名浜のように不漁続きで不景気な町ほどこの制度を利用すべきものである▼お金がないから医者にかゝれないという位あわれな事はない、いま健康保険制度を利用している薬場、官公署の人達はこの保険のために診料で治療は無料だし家族は半額で済んでいる▼問題は保険料の掛金で小名浜が若しこれを復活させた場合は最高月額千八百円、最低二百円位となる様だ、この掛金が滞納となりゴテついて運営がうまく行かないのがいつも悩みの種である▼これに対し医師会側からも希望條件が二、三出ているようだ、その端的なものを挙げると町は総予算額の一割を投出して健康保険を負担しその分だけ町民の掛金を軽くしてやれと云うのである月千円以下の掛金で特に中産以下の人達の分をグット下げてやると云うのだ▼町の総予算一億五千万円とふんで一千五百万円を町が投出せばよい計算である、現在の小名浜の財政ではこれは云うはやすく行うに難いものがある、委員会の空気では野党又は中立系と見られる人達は頭をひねつた、これに対し与党第一号の小野（務）議員は「何んでもないことだ、立花新町長にやらせよう、若し町長が尻込みするようなことがあるなら吾々が輔弼する」と強気に言切つている▼これは大変結構なことでそれでこそ貧乏人の味方だゞと云うもの、鮮やかな切れ味を先ずこの健保問題で立花新町長のお手並を拝見したい

× ×

▼源岡多久氏は市役所のピカ一である、この人を休ませたことは惜しい、彼ほどよく仕事の出来る人はあの役所の中ではいない、元来が役人上りでなく大きな実業家の処で育つたゞけに、スケールが大きい、役人の型にはまらぬ処に彼の面目がある、不器用放題というやつである、時線もするがだからといつて彼は反市民的行為は一度もしたことがない、市民の幸福を中心に考えて行動するのだから、時線しても取り返しのつかなくなるようなことはしない▼彼の積極性は助役の消極性と時折り衝突するようだがこの積極性を充分に伸ばしてやることが必要だ、時機市長は彼の大きい人だから暫時彼を休憩させまた使う肚らしいが源岡氏が彼を立てて戻らないようなことになつては市の一大損失である、人間活用の妙味を知つてもらいたい

天気予報

十九日「今晩」北西の風晴一時曇り「明日」北西の風大体晴時々曇の広がるところもある、海上今晩明日とも時々風波がやゝ高い

只今がお買時・當店手持に問屋さん手持の協力を得まして
18―28日まで
冬物一掃大棚ざらえ値段次々發表！

大黒屋
常に皆様の利益を謀る店
小名浜店 湯本店 金坂店
大丸店 平支店 平本店

フル・アツション靴下一宣傳大會（二十日より）
都是、中外製品オール発表、売場にかきましてはマネキンが使用法の御説明申上げます
期間中無料修理券進呈
平支店 大丸店

婦人セーター見切提供
六〇〇円 八〇〇円 九八〇円均一
平支店

紳士オーバー一掃値段
四・五〇〇円 三・九〇〇円
三・五〇〇円 最後のお値段
手持ちわずかです

婦人オーバー一掃値段
三・九〇〇円 四・八〇〇円
最後のお買徳値段
平支店

子供オーバー見切値段
男児オーバー 八〇〇円より
女児オーバー 五〇〇円より
一寸シミが有ますが普段に充分、
平支店・大丸店

冬物服地見切値段發表中!!
冬の純毛服地が東京問屋より直に入荷致しました、ゼヒこの機会を御利用下さい

春の高級服地陳列發表中
平支店

春の服地全店に次々入荷

極上裏毛子供八段
メリヤス見切
（一寸シミがあります）
二一〇円を一五〇円に
三〇〇円〃一六〇円〃
三一〇円〃二二五円〃
全店發表

防寒コート見切値段
三・三〇〇円を二・七〇〇円に
四・二〇〇円〃三・三〇〇円〃
五・三〇〇円〃三・三〇〇円〃
五・八〇〇円〃四・八〇〇円〃
平本店

姑息な人事異動

小野姓廣

思うよ

平市役所に十三日付で既報の通り一部に九名の人事異動があつた、課長級の異動ではなく主任級が主だつたが新年度に入つてからやつても間に合うべきものを半端な二月ごろに実施したので「一体どうしたことなのか」と吏員たちはケゲンに思つている、新年度当初予算の編成時でもあり事務の整理もついていない時にかゝる性急な異動を何故行わなければならなかつたのだろうか。

この異動が特に注目を呼んだのは商工課商工主任の高岡氏が商工主任の職を解かれたことである、職を解かれた以上クビかと思つたところ佐藤総務部長の話では休職だというその理由というのは交渉にあえぐ松方岡児島遊園地にローラースケート場（工事費八万六千円スケート靴具十万円）を工応部の許可なく設置しようとしたというにある。

綿岡氏は先きに児島遊園地の近くに便所がないと市民に評が高く、急ぎ友人の正木鼻次郎氏に建設させようと計画したが予算の都合でおじゃんになり、市民の要望に応えられなかつた、またまた冬枯れ時の同遊園地は一日一人くらいの入場者しかなく従業員に給料も支払えぬ状態だつたため、何んとか対策を講じなければと考えローラースケート場の建設に着眼、関場商工課長にも話の上で正木氏に設計させバタバタ始まつたソケだつた無論予算などないから建設後、収入となる使用料で支払うということで始まつた。

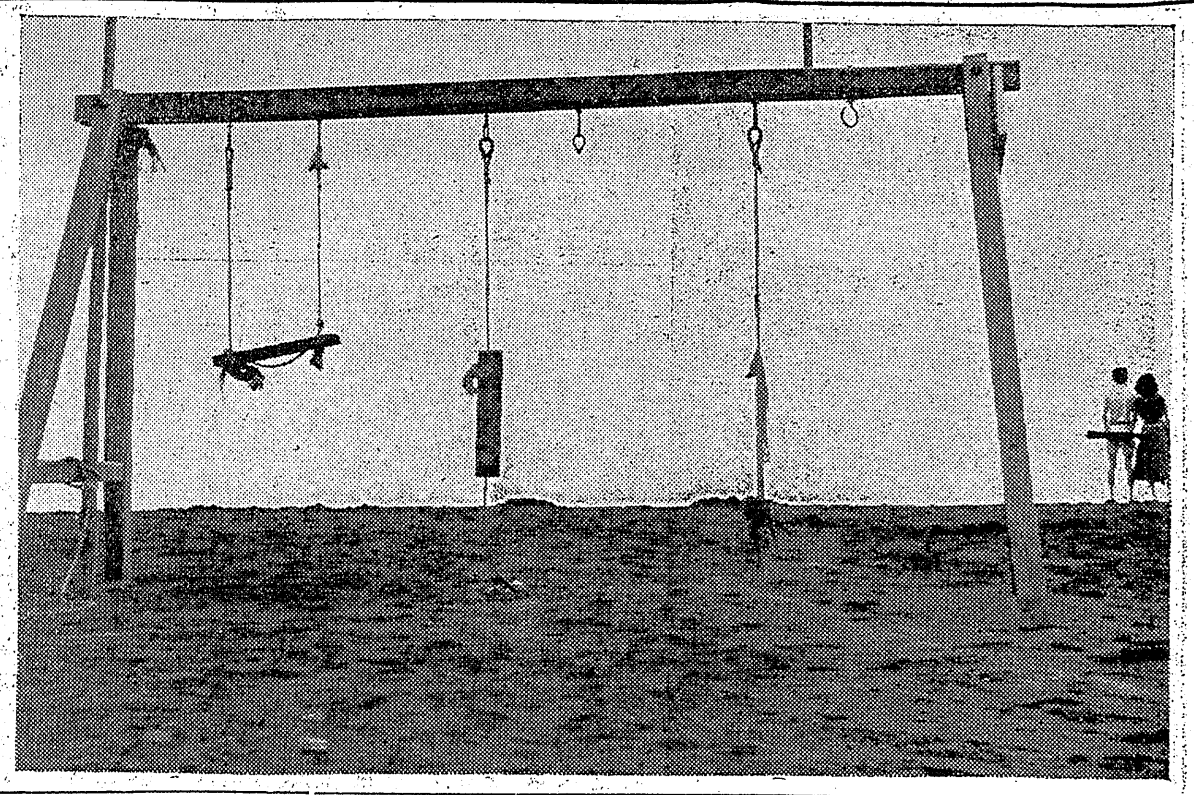
関場課長は当時、冷害対策の仕事で忙しく綿岡主任にまかせ切りであつた、これが伊藤助役に通じてなかつたので役所の統制を乱したものだとして伊藤助役からせめられた、だが企画としては助役も賛成し諸橋市長も中に入り、綿岡氏は助役に陳謝の上で一応ケリがついていたものであつた。

ところが助役はこの問題が商工課だけに止まらず、他の課にも波及するものと考えたか、綿岡主任の処置は会然知らぬと助役に報告、監督上の責任は何等追究されなかつた、そして商工主任のみ職を解かれたというのはどうしたことか、余りにも片手落ちな処置ではなかつたか。

それに商工主任だけでなく忙しい役務の統計主任まで異動した、これは関場課長が使えこなせないところから暗躍し盛務、商工をわがバツでこり固めようとした魂胆としか受取れない実に不明朗なものであつた。

役所の統制を乱したことは確かによろしくないことだが、それよりも官僚主義で浮名をはせた伊藤助役は一体だれからせめらるべきだろうか。

大口寄附を始め常磐炭鉱高圧線移転の敷地買収、松方岡児童遊園地の設置、中金、国民金融公庫の活用など綿岡氏の非凡な手腕力量は吏員始め市民からも高く買われている、かゝる有能な士は一日も早く復帰させることが市民にとつて大きなプラスとなる。（本誌記者）



部落懇談會を

湯本、磐崎の合併問題

湯本町磐崎村合併促進委員会は十八日午後一時から湯本町役場にひらいた結果、各部落に進出懇談会をひらいて趣旨の徹底を図ると、もに、部落民の意志を確めることになつた、現在の段階では炭鉱と環境を同じくする上湯長谷部落だけが合併に賛意をみせ、その他の部落は農村地帯なので政治、経済文化面で同一性がないとの意見が強く困難を予想している模様であり、合併の実現は常磐炭鉱の強引な政治力如何にかゝつているのではないかとみられている、また合併促進のため五百万円を計上したとの噂があり町民から批判をうけている、馬場村三部落の境界線変更問題も暗礁に乗りあげた形にあり三部落民代表が県に陳情までしたが現在では合併意欲が漸弱しく、小名浜町の政治力に圧倒され況ごみの状態を続けている模様、なお内郷町と永戸鹿島村合併問題もだけに動きが見えるだけている

癌の映畵化

あす映畵會

県及び仙台文化センター主催の天然色映画会は二十日午後二時から平市大工町労働会館にひらく、映画会では世界医学界で問題の「癌」についてアメリカが研究した資料を映画化したもので医師会、保健婦、看護婦らが参集する、なお一般者も入場出来る

給食用野菜を學校に寄附

錦町婦人會

錦町婦人会では先に公民館に引き続き給食用として小学校に野菜類二七〇貫を寄贈したが、又も給食用として小学校に野菜類二七〇貫を寄贈し児童及び学校当局者に感謝されている

私の傑作

曇り日 ③

明智幸三郎

ライカ3F　ニツコール一・四付　絞り六・三　百分ノ一秒　ネオパンSS　ミクロファイン　月光V　3　D七二　（平市二丁目）

遠い街

宮森明夫
丸山久壽畫

67

島宮が出ていつてしまつたので津田と青菜塩吉もふらふら外に出ていつた。あたりが急に、火が消えたようになつたので、由美の心は肌寒かつた。美夜子は長いまつ毛を伏せて右のように黙つていた由美は、美夜子のまわりに立ちこめている重苦しいやのような雰囲気の中にふと、島宮信雄の呼吸を感じてぎよつとした。美夜子が島宮信雄を愛している―予想していないかつたことだけに、由美は青白いショツクに心を傷つけられた

美夜子が悪夢からさめたように顔をあげた。細面の優しい顔で、疲れが瞼のあたりによどんでいた。

「美夜子さん、あなた少しお飲みにならない」

由美は酔つてみたくなつた。

「駄目なの、あたし」

「ほんの少し、ねえつき合つてよ、ほんの少しでいいから」

「ほんとに駄目。あたし…」

「いいじやないの、ハイボールは婦人の飲むものですもの」

「でも、あたし飲めないの。あたし、ココア頂戴するから、あなた飲んで」

「そう、あなたがたに叱られるんじやないの、邊う？」

「まあ…そんなこと」

美夜子は、恥いところでもみるような眼をした。澄んだ美しい眼だつたので、意識してからかつた由美の方が、却つてはずかしい思いをした。

「じや、ペパーミントにするといい、あれなら大丈夫、きつとお気に召すわ」

美夜子はむげに断りきれず、素直に好意をうけた。

「美夜子さん、あなたのお友だちつて、一風変つた人ばかりなのね、みんな」

由美はハイボールを一口飲むと話題を転換した。美夜子ははにかむように微笑した。

「それぞれ、風格があつて面白いわ。バカだけど、津田さんには得がある。世紀末的なところがある。世紀末的なところはけど、塩ちやんは純真で、あたし大好き。それから、あの人―島宮さんておつしやつたわね。無愛想で、とつつき難い人。いやに深刻な顔をして…演出しているんじやないでしようけど、変うつだわ。あの人を見ていると、こつちで頭がへんになりそう」

美夜子は、島宮のことについては何もお話したくなかつたので黙つて聞いていた。由美は物足りなかつた。

「塩ちやんと島宮さん、同級生かしら」

「いえ、青菜さんは東大の美学ですつて、たしか島宮さんは早稲田でしたわ」

「塩ちやんも、塩ちやんだけどどうして東京に出ないんでしよう島宮さん」

「……」

沈黙が芝居の幕のように下りてきた。

その撮影のご相談は……
田中カメラへ
平市三丁目　電　576
平市大通り　電1860
湯本町三函　電　308

ナショナル
生活に新風を吹込む
文化日本の向上に
最適デザイン
5D　球数3
ナショナルラジオの
特長
キズのこないうるわしいデザイン
3大アンテナ能力が強力で抜群
123万一の品質を誇る
ナショナル全製品特約店
藤越

急募
女給さん　二名　住込み
炊事婦　一名　通勤
◉…優遇致します御希望の方は御来店下さい
レストラン　ブラジル
平市田町並木通り（電九九〇）

開店お知らせ
今度左記に質店を開店いたしました
何卒御利用御引立の程お願いたします
平市紅小路（電二〇八）
山一

御結婚の贈物に喜ばれる
正確な　誠光堂の掛時計
平市銀座通電一四九六

情熱のルンバ奏でる
BAR　花ぶさ
平市仲見世

急募
▼スタンドお座敷麗人　数名
▼食堂女給仕　二名
▼下働き　一名
▼出前（男子）　一名
▼右至急求めております▼固定給にて高給保証▼委細面談
中華飯店　シスター
スタンドバー
平市仲田町電一四〇四

當らないのが不思議なほど
藤越
小名浜　平市
藤越の毎日あたる壹萬円くじは本日よりはじまり。お買上げ弐百円毎に抽せん券を差上げ、毎日開店の際、お客様に抽せんして頂きます。壹千円（商品券）ずつ十名様に毎日差上げるのですから当るのは当然です。
●入進學用品卒業記念品をお買上げの方に撮影無料券呈上

新婚の婿殿に 水をぶつかける
沼之内の"奇祭"擧行

冷水をこれらの青年めがけて浴びせ合うもので、この行事は相当古くから始められているが部落の古老でもくわしいことは判っていないという

一の日は二人の嫁をとった青年がワラジを履き紺の揃いの浴衣を着た分隊員四名から冷水を浴びせられたが、あいにく寒い日だったので二青年が水を身体一杯かぶってブルブルふるえ上っていた、またこれを見る見物人もガタガタの態だった、この祈禱は水に縁のある火災防止と海上安全を願うわけだしいものであった

セ〃を廃したところ火災が起きたり、傳染病がまん延したことがあるので、こんど復活したのだと分圏の幹部はなしている、尚に祈禱が終ると色紙をつけた青竹をかついで約千米はなれた諏訪神社まで駈け足を行い、この帰る途を狙って部落民はこの色紙を奪い取りこれを自家の神棚に奉納すると火災や病気にかゝらないという因習行事を行った、しかしまだこのヒブセ〃もあまり知られていないので部落民が見物する程度のさびしいものであった

（写真は冷水を浴びせ合う〃ヒブセ〃）

福島県石城郡勿来町沼之内漁協組合（組合長大平多十郎氏）では沼之内青年分圏（分圏長永山憲宗氏）の協力を得て十八日午後四時より同字鎮座の岩神社境内で傳統のある恒例〃ヒブセ〃（火伏せ）祈禱を行ったこのヒブセ祈禱はその年内に嫁をとった青年を同境内に集めて約一斗入りぐらいの桶を四名の分圏員が四隅から一せいに三回

辨財天大祭賑う

ウナギとコイで名高い勿来町沼之内弁財天の恒例大祭は十八日（旧正十五日）行われた、この日はウスラ寒い日だったが近郷近在から繰り出した約二万五千の漁業家や信者の人出で終日賑わった、悪天候がたたって例年よりは約一万名ほど人出が少いと縁天商はボヤいていたが、それでも線起物、飾り物が相当にはけたという暖沼のコイ、ウナギが水面にあらわれて容された

参詣者の人気を呼んだ

工員が危篤
炭車が脱線

十八日午後二時十五分ごろ磐崎村上湯長谷小野田炭鉱辰の口本坑上層本線で炭車五台を牽き上げ中扇後部の炭車が脱線し乗っていた名ほど人出が少いと縁天商はボヤ操作手上津芳助さん(三)は頭部を炭車にはさまれ同炭鉱病院に収

落盤で死亡

十八日午後九時半ごろ好間村北好間小田炭鉱新斜坑左一坑に落盤があり採炭夫安斎猪吉さん(五)＝好間村北好間字右八沢＝は下敷となり全身打撲の重傷を負い平市竹林病院にかつぎ込まれたが同夜十一時半ごろ死亡した

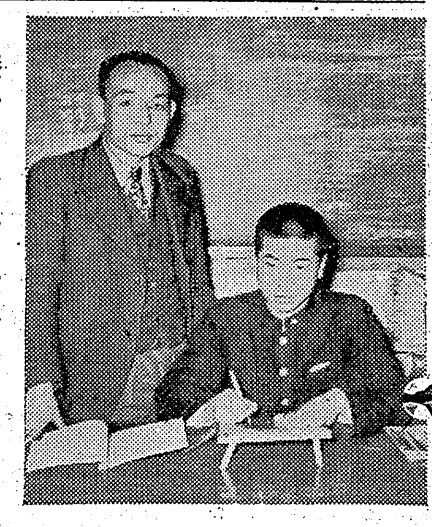
二少年盗む

平市南町無職吉田某(一七)同岩原某(一七)の二少年は十八日午後十一時半ごろ平市田町パチンコ業弓削茂さん(三七)方の留守にしのび込み店舗から撮品用の新生一箱、ポマード、ブドー酒、網話など千円相当を盗んで逃げようとしたところ帰宅した弓削さんに見つかり平市署に突き出された

八年の判決
澤渡村の殺人事件

沢渡村上市貢伐採夫阿部武男(二七)＝仮名＝にかゝる殺人合議公判は十九日午前十時から地裁平支部において八年の判決があった、阿部は昨年十一月十三日早朝同村の山小屋内で二人の安田重徳さん(三七)を斗タで頭をなぐり荒縄で絞殺したもので雇主に仕事をなまけるなと怒られたのを根に持ち犯行したが阿部はトラック事故で二年前から精神異常者になっていたものである

腾寫印刷が優秀で 修得者引張ダコ
湯本一中に咲く師弟美談



腾寫印刷技術の習得を志す生徒とこれを教える教師の三年間にわたる努力が見事に実を結び生徒は就職難をよそに官庁、会社、腾寫印刷屋などから引っぱりだこの歓迎を受けながら高給筆耕技術者として就職したという就職戦線に咲いた麗わしい師弟愛美談がある―

話題の師弟は湯本町第一中学校（校長水野浜氏）孔板クラブ担当深沢喜一教官(三)＝湯本町三頭七一＝と同校三年ホームルーム委員長八巻瞳雄君(一七)＝湯本町天神三＝で八巻君は将来腾寫印刷技術者として身を立てようと一年に入学すると直ぐに同校孔板クラブに入り部員十八名と一緒に深沢教官の指導で腾寫の筆耕を習いはじめ三年間血のにじむような努力をした甲斐あって五色刷りの特殊印刷まで出来る腕前となり学校で発行する「学校訪問のしおり」や学芸会の案内状、プログラムなどの腾寫印刷を一手に引き受け「これが生徒の書いたものか」と先生や父兄たちを驚かせていたが、いよいよ今春卒業することになり平職安所に就職紹介を申し込んだところ「そんな腕前の生徒なら是非」と湯本町役場、品川白煉瓦湯本工場、平市紺屋町大竹腾寫堂など五つの官庁、会社、腾寫印刷屋などから求人申込みが殺到、うれしい悲鳴をあげながら十八日大竹腾寫堂と雇用契約を結び四月一日から筆耕技術者として勤務することになったもので、特に同君苦心の傑作「学校訪問のしおり」は玄人の賞讃を浴びている

深沢教官の話＝これからの就職は特殊技術を持っていなければ駄目だとクラブ活動で腾寫の筆耕技術を教えた、努力の甲斐あって優秀な生徒が出たことがうれしい、八巻君の同級生で同じレベルまで上達した生徒が五人もある

八巻君の話＝みんな深沢先生のお陰だこれからも一生懸命努力して優秀な技術者になろうと思っている努力次第でだれにも出来る仕事です

（写真は勉強中の八巻君と深沢教官）

講道館々長 加納氏來山
廿二日講話

常磐炭鉱柔道部の招きにより講道館加納館長は渡辺七段とともに来る廿二日来山、午後三時から湯本町中央習技所において柔道講話がある

巻込れ重傷

十八日午前十時ごろ田人村旅人字ななはま

◉…十七日午後二時ごろ平駅貨物掛員某が勤務時間中に眠気を催した、たまたま休憩時間だったので

◉…ところが湧水駅長の巡視の網にかゝり件の居眠り駅員は駅長室でコンコンと説教を受けた、他の駅員ら休憩中に眼を閉じてはなんねエーのかとブツブツ、当の駅長は説教につかれ我が駅長室の火にあたりながら船をこぎ始める守前に来客があって我に帰ったが弁解して曰く「説教しすぎてネム気を

無線電話
岩城

山崎宣吉氏

教員生活四十五年、現在夢境を去つて平市公民館の主事を勤めている、満七十才とは思え壮健振り、歩行する姿勢もしつかりしており活はつである、頭はツルツルにはげ頭上や手足に沢山のシミがあるのをみると矢張り年だと感ずるが時もしつかりしているので言葉行きも達者

磐中二期の卒業生で国学院大学に進み、若冠二十二才で教員生活に入つた、振出しは岩手県、福岡中学、それから郷里の磐中次ぎに脳中、仙台一中、再び磐中にきて昭和十五年現職を退き嘱託として昭和二十六年まで平工高に教鞭をとつた

いずれも国漢、歴史を担当しており採炭夫安斎猪吉さん(五)＝好間村北好間字右八沢＝は下敷となり全身打撲の重傷を負い平市竹林病院にかつぎ込まれたが同夜十一時半ごろ死亡した

特に国文学は当地方の権威者「先生の国文学は実によかつた、さらさらと立板に水の流れる如く流麗な読み方や品のよい解釈はいまだに忘れない」と敬え子たちはいまだに感嘆しているが講演中、口にアワの出るほど滔々としやべるのでガニさんの愛称でよばれていた

平市公民館にはなくてならぬ存在、朝の出勤から退館時の時間厳守は時計の如く正確、責任感の強いのも人一倍、風邪をひいたくらいでは休まない、〃少しじらせて弱りましたがまだ大丈夫ですよ〃と遅者なところをみせている教え子たちが同窓会を開くのでその招待を受けたが、成人学校があるというので断わつたこともあるほど仕事には誠実、まれにみる人格者である、冗談一つ飛ばさず厳粛そのものから知らない人は実に堅苦しい人だと感ずるが話せば柔和でユーモアも解し、親しめる好々爺でもある

教え子はザツト四千名に及ぶという、内郷町の出身だけに磐中には前後二回に亘り三十年ほど勤め教頭にまで進んだ、教え子の中には相当出世した者も数多く列挙にいとまないほどだが磐中の卒業生には医博が多いが他の専士になつたのが少いという、特に組主任をした十六期生の二八回（同窓会）は二番印象が深く、同窓会度に招待されているという、二八会員は関内代議士始め大越新氏（常磐炭鉱社長）諸橋元三郎氏（釜屋会計）比佐栄一氏（松相館主人）など知名人がおゝい、市の商工主任である鯨岡多久氏もその一人、今度多久氏が休職になつたと知り心配して自宅を訪問するなど社会に出てからも師弟間の深情がかよつている、一女二男あり長男は名古屋大の助教授次男は平工高、三男は平一中の教員をつとめる教員一家でもある、仕事そのものに全生命をかけてきたゞけに趣味、娯楽など別してなく、将棋だけは大の好物、旧城跡一に老夫婦で生活している

（平市公民館主事）

大塚商店

モスクワ大劇場による絢らんの華ひらく歌劇、バレエの大絵巻！感動に盛りあがる最高の音楽巨篇！

【総天然色映画】

28日から三日間短期公開

同時上映〃ハリウツドの鼻太子様〃

★前賣開始 27日まで前売★平市一丁目 金沢屋菓子店★二丁目菊屋楽器店★五丁目金光堂時計店

★聚楽館窓口★前売80円（当日100円）

聚樂館

コンロ用 白灯油特賣會

二月分コンロ用白灯油左記により特売致します

▽期間＝二月二十日より二月二十二日まで 廿、日、月の三日間

▽場所＝大丸給油所（平市六丁町）及び各大丸営業所

▽数量＝一斗

燃料が節約出来ていやな臭と煤が無くなる コンロの友をおすゝめします

株式会社 大丸 本店 平市三丁目大丸ビル2階 営業所 平・小名浜・四倉・日立・東京

日本人は何故 短命で短身か？

東北帝大近藤博士の話「粒食よりも粉食が日本人の体格増強に良い 従来の食生活に油類のとり方が少ないのが早老の原因であり、短命の結果を生んでいる

バン食にはバターを！

価格が安く栄養の高い マーガリンを！

特売（自家製） チンバン 百匁 五〇円 クロバン 百匁 四五円

★廿・日には一割引券進呈

バンとオヤツの店 平製パン かじ町電二二 一一五七

セイバン・ニュースNO66

父 大塚武雄 �永らく病気療養中の処薬石効なく二月十八日午後四時五十分永眠致しました 慈に生前の御厚情を感謝し謹んで御通知申上げます なお葬儀は来る二月二十一日午後二時自宅にて執り行います

昭和二十九年二月十九日

平市堤ノ内九

施主 大塚幸太郎

親戚代表 村上長次郎 大塚駒太郎 外親戚一同

浄覚院 葬儀に際しましては御多用中の処遠路はるばる御会葬下され御丁重な御弔辞御香料を賜わり御芳志のほど誠に有難うございました 早速参上いたし御礼申上ぐべきですが略儀ながら紙上にて御礼申上げます

昭和二十九年二月十九日

平市五丁目二三

男 酒井俊男

親戚総代 酒井忠二 大平惣四郎 綠川三代喜 長川栄起 早見

日刊（除月曜）1カ月@100円 定価一部5円 郵送126円　（第三種郵便物認可）　いわき民報　夕刊　昭和29年2月20日（土曜日）　第2878号（4）

突如、夜間開室を禁止

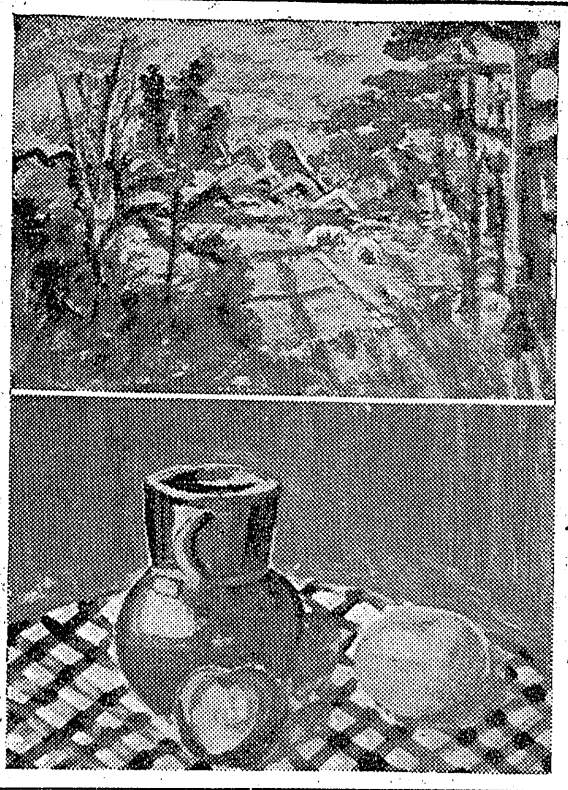
湯本圖書室に批判高まる

図書館活動の重要性がとなに高まつているのに湯本町公民館では昨年十月から実施した夜間開室を突然十七日から禁止したが、若松館長が知らぬうちに成されただけでなく執行部会にも何の通知もないので問題視されている、夜間開室は炭鉱街の特殊環境に住む勤労者のために行われたもので昼間閲覧できない人々から喜ばれてきたもの、禁止された理由は電気料金がかさむということだそうだが、勤労者たちは文化の向上よりも電気料金の方が大切なのかといつており、かるた大会などは勿論夜間のつまらない行事はすべて禁止すべきだと批判している、同公民館は全国十二館の中に選ばれ、昨年十一月三日文化の日に文部大臣から表彰された優良公民館だけにこの ほど行つた夜間開室禁止は多方面に反響を呼び町の文化の向上をはばむものだとの声が大きい、図書室運営は運営審議委員会の決定により町内から選任された部員が委嘱され無償で主体的に執行しているものであり、このたびの夜間開室の禁止は主事が専断で館長、運営審議委員会、部会などを無視して行つたものだといわれ今後のなりゆきが注目されている

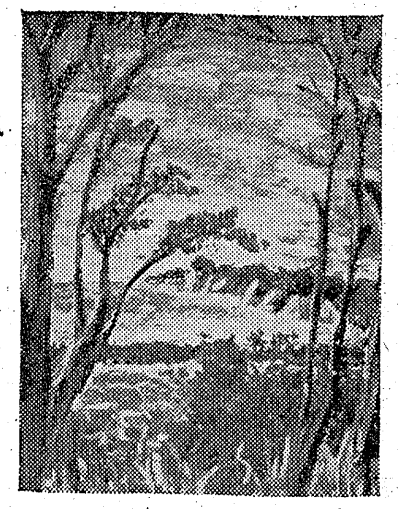
若松館長談＝図書館活動と青年学級の開設が公民館では一番大きな文化事業でなければならない、主事が勝手にやるべきものではない、私は従来通り開室させる

勤労者A談＝困りました、昼間よりも夜間に開室してくれたらと思つているほどですから、電気料ぐらい行事のあと酒宴をはる経費を節約すればいくらでもつくのではないのか、とに角本を買つて読むほど経済的な余裕もなし、再考して頂きたいものです

湯高校生B談＝私たちは夜間しか読めません、学校から帰るとすでに五時ですから、読書は文化の源動力です、湯本町の文化を促進させるのは公民館図書部のつとめだと思います、ましてや次代の文化をになう青年のために是非図書室だけは夜間にも大いに解放して頂きたいものですもし駄目でしたら署名運動をしてもいいです



風景　二ノA　小栗耕芳



学芸会　錦中作品

風景　一ノB　蛭田稔

静物　二ノA　佐藤憲司

四月迄の天氣

豫想

小名浜測候所では三月および四月の沿岸地方の天候予想を十九日次の通り発表した

【二月】▽気温中旬（平年値二度八分）後半から下旬（三度二分）はじめごろにかけや、強い低温があらわれる見込で下旬半ばごろから気温は再び高くなる見込▽降水量平年並（八三・五㍉）が多少少な目【三月】▽気温上旬（四度一分）後から中旬（四度八分）半ばごろにかけてと下旬（六度一分）半ばごろに低く目その他は概ね平年並（五度）なお月平均では平年と余り大差はない▽降水量雨の降りやすいのは上旬末、月半ばおよび下旬半ばごろの見込、月余体では平年並（一〇一・二㍉）かやゝ多い見込【四月】▽気温月平均ではほゞ平年並（十度）寒暖の差があるから晩霜に注意を要する▽降水量平年よりやゝ多い見込平年値（一三一・九㍉）なお小名浜町における降霜の平均値は四月十六日で最晩霜は昭和十三年五月十四日となつている

身体障害者更生指導所

入所希望募集

石城福祉事務所では福島市に新設された県立身体障害者更生指導所へ入所希望者を募集している資格は体不自由者、し切断者、聾唖教育修了或はこれと同等の学力あるもの、同所は月食費二千円を自己負担、あと県費、職能指導は洋服、洋裁、時計、靴工、理髪、勝写などで四月一日開所予定となつている

夜間高校入試の盲點

平第二高等學校　佐藤久彌

毎年のことながら、高校入試のシーズンになると、私達夜間高校に出て、本当の意味で学問教授が如何に大切であるかを身をもつて知つた所謂勤労青年は、中学を卒業後三年経つた者が多く、大概は入試テストが不得意と来ている勿論テストだけが入学の基準ではないが、本当に入学し度い者が、折角の「教育の機会均等」から生れた夜間高校に進学出来ないのでいわば落武者の、一年経てば昼間に逢する場合も出てくる。

運が悪いことには、一度実社会の全日制を再受験するために中途退学する者が合格してしまう。更に実状を明かにすると、私のクラスで入学者が五十八名、二月八日現在で退学者が十一名、この十一名のうち落武者は九名もあり更に三月受験のための退学予定者が七名もある。かゝる退学予定者の授業態度が真摯でないのも実状である。

それに比較して入試こそ一生の内方で合格しても、勤労しながら勉強し様とする夜間高校のいわば正統児は、二、三年と進むに従つて成績が落ちてくるのである。自覚とか覚悟とかの如何に大切であるかが明白に表われてくるのは、昼間校の落武者だからと区別し不合格に出来ないし、だいいちそういう区別自体も明確には不可能である。従つて受験期日を一緒にしない限りこの問題は解決し得ないが、県下の定時制高校の選択人員が増えた為に志願者の不足するオソれもあるという。尤も夜間高校に志願者の殺到する中には免である

ローカル放送

番組審議會

明廿日に開く

NHKローカル放送番組二十九年度審議会は明廿日午後一時から同局で開くが審議会員は左の通り

大河原一次、永野孝夫、野沢武蔵、遠藤節、荒井惠助、清宮一郎、鈴木光四郎

永年勤續職員を表彰

勿來小八十周年式典

勿来町では小学校の学制発布八十周年記念式典を来る二十日役場が主催となつて第一小学校講堂で盛大に挙行する、十年以上断続の左記教職員が表彰される

▼第一小学校＝秋元高次、鈴木ハルエ、古川秀▼第二小学校＝飯田和▼第三小学校＝菅川勝一、千代本三郎、飯田保、赤津量平▼中学校校長＝稚名辰雄、赤津浦子

沼之内青年分團總會

豐間町沼之内青年分團総会は十八日午後五時半より公会堂で開き次のとおり表彰した

▼生活改善尽力功労者＝高橋誠（前同分團長）▼分團功労者＝山野辺森秋、山野利雄、遠藤聖一郎▼精勤賞＝永山一ほか七名

小名濱常任委員決る

小名浜町では去る九日の町議会で常任委員の組替を決め人選については長瀬議長に一任していたが十九日次の如く新委員の顔ぶれを決め各町議に通告した、今度の組替えでは全町議が委員になつている市制準備委員会（委員長西丸猛、副委員長橋本佐多寿の両氏）が除かれたのを始め常任委員会として港湾、土木両委員会を新設し工場誘致関係は総務委員会に吸収されたため総務は大委員会となつた、正副委員長は次回の町議会で選出される予定だが町議側の希望は総務、土木両委員会が多く水産委員会が一番少なかつた、なお各委員会の定数は十名である

【総務委員】小林仁一郎、松原文吾、飯塚勝、飯田宗秋、鈴木イセ、小野務平、石井幸平、木田谷平、竹田千里、長瀬啓一

【経済委員】野崎貞行、金沢勉、斎藤誠吉、飯田宗秋、鈴木イセ、小野幸次郎、飯塚新四郎、藤社大一、長瀬啓一、橋本佐多寿

【文教委員】高木嘉一郎、箱崎滝三郎、金沢勉、斎藤誠吉、飯塚勝、小野務平、小野直千賀、石井幸平、木田谷平、竹田千里

【厚生委員】比佐政種、松原文吾、高木嘉一郎、菅原勲、飯田宗秋、鈴木イセ、小野務平、小野直千賀、小野幸次郎、飯塚新四郎

【水産委員】小林仁一郎、松原文吾、木村祐、箱崎滝三郎、小野幸次郎、石井幸平、飯塚新四郎、藤社大一、竹田千里、長瀬啓一

【港湾委員】比佐政種、小林仁一郎、木村祐、野崎貞行、金沢勉、西丸猛、斎藤誠吉、菅原勲、飯塚勝、木田谷平

【土木委員】比佐政種、高木嘉一郎、木村猛、箱崎滝三郎、野崎貞行、西丸猛、菅原勲、小野直千賀、藤社大一、橋本佐多寿

今晩のラジオ

19日

◇NHK　二三六〇KC

午後0.00 黄金のいす　利根一郎ショー
0.30 独演会　浪曲吉田奈良丸
1.00 関東煮　森繁久彌、放送劇「早春」
1.30 長唄　英獅子
◇ラジオ福島　一〇六〇KC
午後0.00 金ドラ「暖流」
0.10 フクタの時間
0.15 タンゴアルバム「夕映えほか
0.30 日の丸アワー
1.00 素人歌合戦
1.30 リズムに乗せて
2.00 大衆タイム
2.10 家族あわせ
2.20 落語　痴楽十三夜
2.50 唄入お吉
3.00 夜のハーモニー　バツハのオルガン曲

今日の映畵

各館とも二十二日まで

★平館　夜六時二五分
家族会議　初笑い寛永御前試合
★民劇　夜六時三〇分
南国太平記（前後大会）
★聚楽館　夜七時二五分
二七日まで
シエーン（天）　大平原の愚子
ドタバタ参頭士
★ひかり座　夜六時五三分
砂漠の決斗（天）暗黒街の王者
★世界館　夜六時五七分
落花の門　元祿あばれ笠　色彩マンガ（グーフイのターザン）

新しいDPは高い　割烹　一の井　アメリカン風洋食

ラジオは古山　日本製鋼所の技術です！　パインミシン　PINE　飯塚ミシン商會　植田町本町電268

毛布　平専門店倉の内　中野洋品店

洋服　洋品　大勉強　冬物一掃大賣出し　大丸の洋酒　鈴木勘兵商店　第1平市一丁目電1638第2平和通電732

卒業記念　贈答用　廣告用　カゾミ　平・公園前　吉村ガラス　平689番

★一日一食はパン食を！　毎週　土日一割引サービス　東京堂のパンはビタミンカルシユーム（栄養素）入りの強化（エンリツチ）パンです　★配達をご利用下さい　国鉄指定店　東京堂　平市才槻小路電二〇八　東京堂大丸店　平市三丁目電一五九九

イワキセメント　各種タイル　建築用諸材料　株式会社　野内商會　本町四丁目電11・1078

第三回石城酒造品評會　第一位最高賞　優等首席賞受領　優等賞　吟香に薫る　天宅　山宗酒造店　平市南町電三一二